

# さいたまチャイルドライン



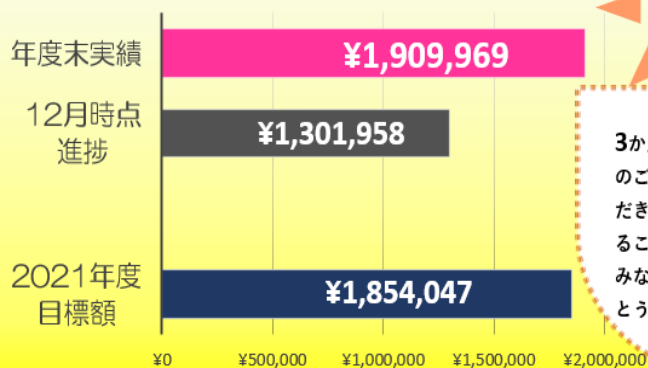
## NEWS

2022年8月号

発行 特定非営利活動法人さいたまチャイルドライン

# ありがとうございました！

## 2021年度 寄付金、正・賛助会費



達成率  
103%

3か月で608,011円  
のご寄付・会費をいただき目標金額を達成することができました！  
みなさま本当にありがとうございました

さいたまチャイルドラインを応援してくださっている皆さま、活動に協力してくれている皆さま、関心を寄せてくださっている皆さま、いつも本当にありがとうございます。皆さまのお力で不足していた昨年度の寄付金が目標金額に達したことをご報告させていただきます。

2021年度の寄付金が集まらず、前回のさいたまチャイルドラインNEWSにてSOSを発信させていただきました。その後たくさんの皆さまからご支援とともに

温かい応援の言葉をいただき、これからもこの活動を続けていかなければと使命感を切に感じております。子どもの心の居場所づくりのために、私たちの活動を継続していけるように精いっぱい努力してまいります。

## クレジットカードで！ 継続で！ポイントで！



寄付はこちらから！



「カードで手軽に寄付できるといいなあ」、「ワンコインなら継続してサポートしやすいんだけど・・・」、「貯まっているポイントで寄付できないかな？」大変お待たせしました！ソフトバンクのつながる募金を利用して、もっと手軽にサポートしていただくことができるようになりました。どなたでもクレジットカードを使っての寄付、毎月（3, 6, 12回）、100円から1万円まで選んで寄付していただくことができます。また、ソフトバンクポイントを使っての寄付も可能です。

## 報告書からみる子どもたちの声

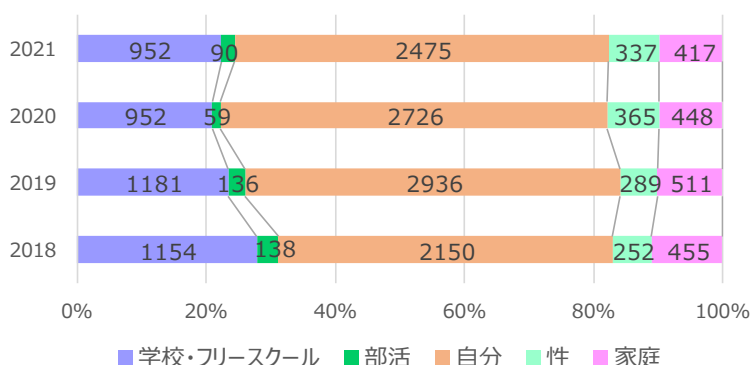
さいたまチャイルドラインでは電話やチャットで届いた子どもたちの声を毎年報告書として作成しています。子どもたちからの声をどれくらい受け取ったのか。どのような訴えが多いのか等、本年度は作成チームが発足し、報告書の作成を行いました。この報告書は県内の学校やサポーターに配布し、私たちの活動を知ってもらうと共に、子どもたちの声を社会に発信する、重要な役割をもっています。今回は報告書のデータの中から、特に知ってもらいたい内容を紹介します。

### 主訴TOP5項目比率の推移

※グラフの数値は受信数（電話+チャット）

・電話：埼玉の子どもたちがかけてきた件数

・チャット：さいたまチャイルドラインが受けた件数



主訴(子どもたちが話す事から)については「自分」「学校」「家庭」「部活」「性」の5項目が毎年上位を占めています。(全体の95~97%)

過去のデータからみても自分に関する主訴が増えていることがわかります。学校や部活においては他者と関わる時間が薄くなっていること、またその分自分自身と向き合う時間が多くなっているのではないかと思います。

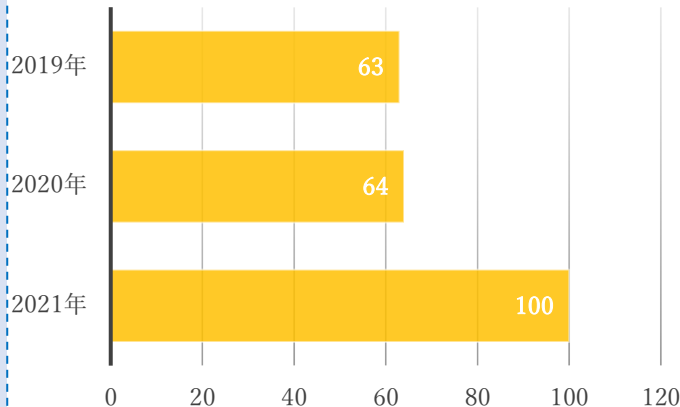
「自分」の中には、『希死念慮』『自傷行為』なども含まれています。

### 「貧困」の訴えにも注目しています。

右のグラフは全国で受けた電話とチャットの総数から貧困の訴えがあった件数です。

特に、2021年度においては数が増えています。コロナによる経済的な影響が子どもたちにも大きくのしかかっているのではないのでしょうか。ウクライナ情勢等の影響による値上げも続き、経済状況はますます逼迫する中で、今後もこの訴えは増えていくのではないかと思います。大人の辛さはメディアで取り上げられることが多いですが、このグラフを見ると子どもからの訴えが増えていることがわかります。

### 電話とチャットから見える貧困の訴え



報告書には他にも子どもたちの現状がわかるデータがたくさん記載されています。普段私たちが見聞きした情報と、実際の子どもの声からの訴えを照らし合わせ、偏見なく子どもたちの話が聴ける努力をこれからも継続していきたいと強く感じます。

## 活動の報告

さいたま市市民活動サポートセンター主催

### 「七夕飾りde活動紹介パネル展」に参加

6/19(日)～7/9(土)まで開催された、パネル展に昨年のクリスマスに引き続き、参加をしました。

今回は七夕をテーマに来場者の願いを短冊に書いてもらう企画を考え、どんな願いが集まるのか、担当者はワクワクしながら飾りつけをしました。「平和」「コロナ終息」「家族の幸せ」「志望校合格」などなど、73枚もの思いのこもった短冊が並び、いつもと違う形で子どもたちの声が聴けたことで、大切な思いを受け取ったと感じています。

ご参加いただきましたみなさん、ありがとうございました。



## 県内すべての子どもたちにカードを！

昨年度は県内の1533校へカード枚数約91万枚のカードを配布しました。今年度も埼玉県内の子どもたちにカードを配る活動がいよいよ始まります。

例年通り、県内の各市町村の教育委員会を通じて配布させていただく予定です。本年度はすべての子どもたちに！という目標達成のために、新しくカードを配布する学校を増やすべく、担当者たちが動き出しています。

また結果はご報告させていただきます！



## ブログ、Twitterを発信しています！

さいたまチャイルドラインのHPには子どものページ、大人のページがあります。子どもたちに知ってもらいたいこと、大人に訴えたいことが書かれています。是非、皆さまの訪問をお待ちしています。またHPのブログでは活動の報告、Twitterでは中高生に向けての発信をしています。まだまだフォロワーが少ないので、皆さんのフォローをお待ちしています！

HPはこちら↓



## ☆2022年度通常総会が開催されました☆

去る5月28日にオンラインで2022年度通常総会が、開催されました。  
昨年度の事業報告や収支報告が行われ、今年度の事業案、予算案などの議案が可決されました。  
本年度も引き続きさいたまチャイルドラインの活動を応援してください。

### 電話の受け手養成講座

11/13(日)～1/29(日)の予定で「第23期さいたまチャイルドライン電話の受け手養成講座」を開講します。何か子どもたちのためにできることはないかとお考えの方、ぜひ子どもたちの心の居場所作りのために、私たちさいたまチャイルドラインにお力をお貸してください。また、子どもたちのことをもっと知りたいと考えている方が周りにいらっしゃったら、お声がけをお願いします。  
詳細は、当団体のホームページや県の広報誌である「彩の国だより」10月号にてお知らせいたします。

### 子どもたちへの出前講座

さいたまチャイルドラインでは受動的な活動の他にアウトリーチとしての子ども支援活動を進めています。劇を使ってコミュニケーションの方法を考えるフォーラムシアターワークショップとネットとの付き合い方を考えるワークショップ、2つプログラムを作成中です。そこで！子どもたちに出前講座をして欲しいというところを募集しています。「ここでやってみたらどうかな？」「是非うちに来て欲しい！」という方がいらっしゃったら、**事務局まで**お知らせください。

## 代表あいさつ

□ コロナが少し落ち着いてきて、普通の生活を少しずつ取り戻し始めていたら、第7波があつという間に広がってきました。With コロナとわかってはいても、この生活が一体いつまで続くのだろうと大人の私たちも不安になりますね。3年という月日はとても長く、まだまだ慣れないと感じている人も多いのだらうと思います。  
そんな中、子どもの状況をまとめる報告書作成に携わりました。私たちに訴えていることはなんだろうと考えると同時に、「じゃあ私にできることはなんだろう？」という気持ちにもなりました。さいたまチャイル

ドラインに力を貸してくれる方々は誰もそのような気持ちがあるのではないのでしょうか。活動を通じて、子どもたちの現状や未来について話すたびに、私は安心感をおぼえます。「私と同じように感じている人がここにいる。私の気持ちを話しても良いんだ。」というなんとなく自由な気持ちでいられるからです。子どもたちが安心して気持ちを話せる場所、その場所を守っていくために、私たちはこれからもできることを続けていきたいと強く思います。

鈴木愛



### さいたまチャイルドライン事務局

e-mail: [scl@jcom.home.ne.jp](mailto:scl@jcom.home.ne.jp)  
ご連絡はメールにてお願いします

作成担当: 瀬谷・神山・鈴木